

平成30年度咲くやこの花賞受賞者
《文芸その他》

よこやま たくや
横山 拓也 [劇作・演出]

1977年（昭和52年）1月生まれ（42歳）



[贈呈理由]

大阪を拠点に関西弁の口語を用いた多彩な会話劇を生み出している。2017年は大阪で上演した「ハイツブリが飛ぶのを」「肅々と運針」が高い評価を集めたほか、2018年は5月に東京・こまばアゴラ劇場で「iaku 演劇作品集」として上演した代表作4作や、俳優座に書き下ろした新作「首のないカマキリ」の劇評が各紙誌に掲載されるなど、東京でも注目を集めた。地方公演も積極的に行っており、大阪の劇作家として演劇界で存在感を増しつつある。

[プロフィール]

1996年、大阪芸術大学在学中に「売込隊ビーム」を結成し、作・演出を手がける。
2012年より演劇ユニット「iaku」（いあく）を主宰し、大阪を拠点に全国で活動。

[主な受賞歴]

- 2009年 「エダニク」で第15回劇作家協会新人戯曲賞
- 2013年 「人の気も知らないで」で第1回せんだい短編戯曲賞大賞
- 2017年 「ハイツブリが飛ぶのを」で第72回文化庁芸術祭新人賞（関西参加公演の部）
「ハイツブリが飛ぶのを」「肅々と運針」で第54回大阪文化祭賞奨励賞